

除細動器仕様書

I 構成内訳

1	デフィブリレータ	1台
2	AC/DC モジュール	1台
3	リチウムイオンバッテリー	1台
4	架台	1台
5	バスケット	1個
6	SD メモリカード	1個
7	除細動レポート表示ソフトウェア	1式
8	除細動パッド	1式
9	Bluetooth モジュール	1式
10	Spo2 中継コード	1式
11	フィンガープローブ	1式

II 主な仕様

- 1 心肺蘇生などの救急場面に役立つ SpO₂ を測定できること。
- 2 除細動後に発生しやすい徐脈など、すぐに循環状態の改善を必要とする緊急時に、すばやく簡単に對外ペーシングができること。
- 3 NIBP は、手動／連続／定時測定ができること。
- 4 除細動データ、AED 解析時の波形などを内部メモリに保存できること。
- 5 電源 ON からの波形と音声を SD メモリカードに保存できること。
- 6 保存データは除細動レポート表示ソフトウェアでパソコンにてレビュー、印刷、保存ができること。
- 8 8.4 インチの大画面ディスプレイを有し、最大 6 トレースを表示できること。
- 9 AED 機能は、除細動が必要となる波形を検出すると音と画面表示で通知できること。
- 10 AED 機能は、解析開始から充電完了までは最短 8 秒であること。
- 11 AED 機能は、分かりやすいイラスト付のガイダンスと音声メッセージで操作をサポートできること。
- 12 セルフテスト機能を装備し、毎月、毎日、電源 ON / OFF 時に装置の状態を通知できること。
- 13 簡易動作チェック機能を内蔵し、装置を使用する前に 2 分程度で点検できること。

14 簡易動作チェックの結果は、SDカードへ保存できること。

社会医療法人社団
大久保病院